

(ア) 4月当初に発見された物質 1件

No	発見日	発見場所	発見物の概要	措置状況等
①	4月3日	気象庁本庁地下 海洋気象課倉庫	鉛容器に入った密封線源 1個 直径1cm、長さ3cm 物質：セシウム137 (30MBq)	文部科学省に連絡済。 専門機関により処理済。
			小型試薬瓶に入った物質 4個 物質：硝酸ウラニル 330g (ウラン量158g) 60g (" 29g) 硝酸トリウム 25g (トリウム量11g) 10g (" 4.4g)	文部科学省へ連絡済。 気象庁本庁地下金庫内で保管。 (速やかに気象研究所の管理区域に移設し、適正に保管)

※すべて保管されていた状態では放射線量はバックグラウンド値レベル(環境への影響なし)

※ 発見されたウラン・トリウム化合物については、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく使用の許可を要しない数量であるが、同法に基づく使用許可事業所である気象研究所に保管することとしている。

(イ) 総点検により発見された物質 4件

	発見日	発見場所	発見物の概要	措置状況等
②	5月26日	気象庁本庁地下 海洋気象課 測定室	直径3cm、厚さ5mmの円盤状の透明プラスチック容器に密封された線源 2個 物質：ウラン化合物0.9g、1.2g	文部科学省へ連絡済。 気象研究所の管理区域内で保管。
③	5月28日	気象庁本庁8F 海洋気象課 薬品庫	小型試薬瓶に入った物質 1個 物質：硫酸ウラニル0.6g	
④	6月1日	気象研究所6F 地球化学研究部 光学分光測定室	蛍光X線分析装置用試薬 2個 物質：酸化ウラン 2g 酸化トリウム 2g	
⑤	6月21日	米子測候所 1F倉庫	鉛の容器の底に 直径3cm、厚さ5mmステンレス製の皿状の物質 1個 物質：酸化ウラン48mg	

※すべて保管されていた状態では放射線量はバックグラウンド値レベル(環境への影響なし)

発見状況写真

① 4月3日 気象庁本庁地下倉庫



小型試薬瓶に入ったウラン、トリウムの化合物

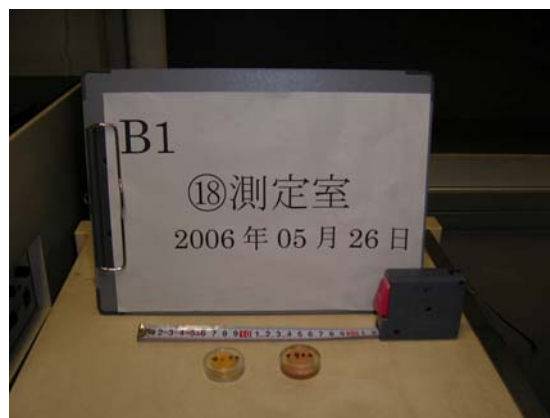


鉛容器に密封されたセシウム137

② 5月26日 気象庁本庁地下測定室



発見した測定室内の書庫



円盤状のプラスチックに密封されたウラン化合物

③ 5月28日 気象庁本庁8階薬品庫

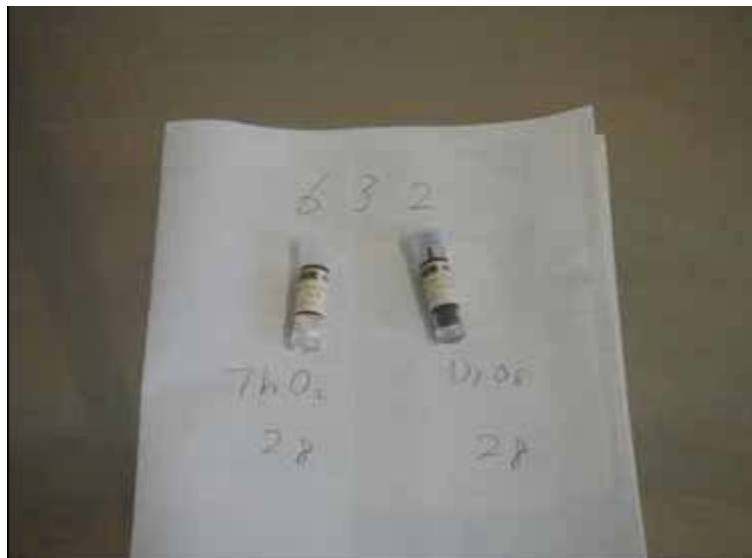


発見した薬品庫の棚の下奥にあるコンテナ



小型試薬瓶に入ったウラン化合物

④ 6月1日 気象研究所6階光学分光測定室



試薬の中のトリウム化合物とウラン化合物

⑤ 6月21日 米子測候所1階倉庫



鉛容器内のステンレス製資料皿

